

リリースノート - AJA Windows Software

Version 4.2

全般

初めてAJA製品を使う場合は、インストールCD内にある「Read Me First.PDF」を必ず確認してください。AJA Windows Software 4.2は、XENA LS/LSe、HS、LH/LHeとLHi、2K/2Ke、Io Expressシリーズに新機能の追加と既知問題への修正が行われています。

動作環境

- ・このインストーラを使用する前に、以前のAJA XENAまたはAJA Windowsソフトウェアを取り除く必要があります。
 - ・ Windows XPの場合
 - ・ 「プログラムの追加と削除」を起動する
 - ・ 「AJA XENA Retail software」を選択し、「変更」ボタンを押す
 - ・ ダイアログボックスが表示されたら「Remove」をクリック
 - ・ Windows Vista/7の場合
 - ・ コントロールパネルから「プログラムのアンインストール」をクリック
 - ・ 「AJA XENA Retail software」ソフトウェアを右クリックして「変更」を選択
- ・ QuickTime™ 7.6以上
- ・ Windows 7 (64bit) を推奨。またはWindows XP 32bit、Vista 64/32bit
- ・ 推奨システム環境と設定については、下記URLを参照してください（英語）。
<http://www.aja.com/support/xena/xena-system-configuration.php>
- ・ NVIDIA Quadroを使用する場合の推奨ドライバについては、下記URLを参照してください（英語）。
<http://www.aja.com/support/xena/xena-graphics-cards.php>
- ・ Adobe Premiere Proを使用する場合はバージョン4.2以上
- ・ Adobe Media Encoderを使用する場合はバージョン4.2以上
 - ※このドライバはAdobe CS3をサポートしていません。
- ・ このインストーラをWindows 7またはVistaで使用する場合は、インストーラを右クリックし、「管理者として実行」を選択し、管理者アカウントでの実行をお勧めします。ユーザーアカウント制御(UAC)を無効に設定している場合、このオプションは表示されません。

新機能

- ・ Io Expressをサポート (Machina、Premiere Pro、After Effects、Photoshop、Fusion、Vegas)
- ・ Premiere Pro 4.2をサポート
- ・ Vegas Pro 9.0cをサポート (XENA LHi、2Ke、Io Express)

- ・ “Playback Option”のインターフェイスを刷新した 新しいPremiere Pro プレイヤー
- ・ Premiere Proでの新しいオーディオデバイスハンドリング
※XENAまたはIo ExpressをPremiere Proのオーディオ出力デバイスとして使用する場合は、環境設定のオーディオハードウェアでXENAまたはIo Expressを選択する必要があります。この機能の詳細は、Io Expressユーザーズマニュアルの82ページ（英語）を参照してください。
- ・ Fusion 6.0をサポート
- ・ Premiere Proにおいて、XENA LHiおよびIo ExpressのHDMI出力の設定を追加
- ・ DVCPRO HDのエンコーディングパフォーマンスを最適化
- ・ 新しいAJA Transformエフェクトを追加（Crop/Flip/Pan/Tilt）

改善点

- ・ Premiere Proにおいて、長尺または大きなプロジェクトを操作した場合のパフォーマンスを最適化
- ・ Premiere Proのソースモニターおよびプログラムモニターの品質を改善
- ・ Premiere Proにおいて、複数のオーディオカードを使用したオーディオルーターティングの問題を解消
- ・ Premiere Proにおいて、ネストされたシーケンスの挙動を最適化

既知の問題

- ・ プログレッシブフォーマットのプロジェクトでHDMI出力を得るには、ほとんどの場合“PSFではない正確なプログレッシブ”設定にする必要があります。プログレッシブフォーマットを取り扱う場合の多くは、HD-SDIやアナログコンポーネント出力のために、PSF（Progressive Segmented Frame）としてプロジェクトを設定します。AJAの1080pプロジェクト設定もデフォルトではPSFに設定されています。HDMI出力のために強制的にプログレッシブ設定を行うためには、Premiere Proの再生設定の“disable segmented frames”にチェックを入れる必要があります。
- ・ XENA ASIOドライバは、Premiere Proでは使用されなくなりました。このドライバは未だにオーディオハードウェアの選択肢として表示されますが、XENA 2Ke/XENA LHi/Io Expressなどを選択する必要があります。ASIOドライバを選択した場合、音声に関する問題が発生する可能性があります。この件に関する詳細な情報は、Io Expressユーザーズマニュアルの82ページ（英語）を参照してください。
- ・ このドライバは、Eyeon Fusion 32bit版をサポートしません。サポートしているのは64bit版のみです。32bit版のFusionを使用するためには、XENAドライバv3.5xを使用してください。XENA LHiとIo Expressは32bit版のFusionを使用することができません。
- ・ Io Expressは、MacBook ProのBootcampを使用したWindows上での利用は推奨されません。Mac ProでBootcampとWindowsを利用する場合はこの限りではありません。
- ・ XENA HSは、DVCPRO HDやXDCAM EX、HDVの用な正方ピクセルではないフォーマットのRTをサポートしません。
- ・ Premiere Proの使用中に再生を停止した場合、CTIは1～2フレーム前にずれる場合があります。
- ・ Adobe Premiere ProからQuickTimeファイルをエクスポートする場合、AJAのFile exporterを利用しなければなりません。AJAの製品とPremiere Proで提供されるQuickTime File exporterを利用することは、Premiere Proがクラッシュする原因になる可能性があります。
- ・ AJAデバイスコントロールダイアログは、Premiere Proのキャプチャウインドウを閉じる前に閉じる必要があります。先にキャプチャウインドウを閉じた場合、Premiere Proがクラッシュします。

- ・ XENA HSでAJA XENAプリセットを使用する場合、シリアルデバイスコントロールの設定をAdobeのシリアルコントロールデバイスへ変更する必要があります。
- ・ 今すぐキャプチャ時には、RS-422経由でタイムコードの記録ができません。タイムコードが必要な場合にはRP-188エンベデッドタイムコードを使用して下さい。
- ・ 一部のSony製VTRをジョグ機能でリモートコントロールする場合、正しく動作しない場合があります。
- ・ Variable Frame Rates(VFR)のプルダウン追加はタイムコードによる調節はできません。
- ・ 今すぐキャプチャ及びビデオにプリント時に、プルダウンフレームレートは動作しますが、インサートエディット及び、In/Outキャプチャ、バッチキャプチャでは動作しません。